

ラムのロードのみを行なうつもりであったのだが、思ったより早くロードが終了したので、手順になかったメモリーチェック、プログラム立ち上げまでこのパスで終了した。MS 担当の富沢／橋本コンビに感謝感謝。Rev.5 は、落ちていて衛星の健康診断。

明日から若者は、宿を出て山の上での生活が始めます（紀伊）。(どこで若者を切るの…某 28 歳曰く)

「あすか」 OPERATION REPORT Ver.0.2

93 年 2 月 26 日 Y+ 6 KSC 当番: 田中、井上、林田、紀伊、鶴

ACP CHK, PBM ON, HCE Op., IRU S1 ON, STT-DE IPL

	PASS 1	PASS 2	PASS 3	PASS 4	PASS 5
Pass No.	930225-1339	930225-1442	930225-1546	930226-0001	930226-0105
Operation	Safe Hold Moni., ACP-B MEM CHECK, OP/OG write start, X-REP	IRU S1 gyro ON, ACP-B Norm. Mode Check, X-Rep., RNG	ACP timer set, S1 gyro Off, XTR heater ON, RBM ON	STT-DE IPL, X-REP, RNG	ACE/ACP/IRU Moni., STT-DE Moni., X-REP
Target	Sky	Sky	Sky	Sky	Sky
AOS(UT)	19:17:29	20:58:42	22:39:34	00:22:08	02:03:44
LOS(UT)	19:28:36	21:10:41	22:52:28	00:34:12	02:15:25
Max-El Time	15.643 19:22:43	48.597 21:04:06	Zenith -	70.304 00:27:30	26.579 02:08:59
Rep-band	X	X	No Rep.	X	X
Rep-start	19:19:04	20:59:22		00:22:41	02:04:46
Rep-status	Round	Round		Round	Round
DP-mode	ACS	ACS	ACS	ACS/MEM CHK	ACS
BP1/2-temp	-4.9/-1.2	-5.5/-1.7	-5.5/-1.2	-5.5/-1.2	-5.5/-0.6
BP3/4-temp	-6.0/-8.1	-6.0/-9.3	-6.0/-9.3	-6.6/-9.8	-6.6/-9.3
SIS-mode					
S0/1-TECT	-45.31/-44.78	-46.08/-45.46	-47.20/-46.48	-47.10/-46.43	-47.54/-46.87
S0/1-CCDT	-44.36/-43.71	-44.74/-44.04	-45.11/-44.46	-45.25/-44.55	-45.89/-44.74
S0/1-Pres	75.00/72.00	72.00/70.00	68.00/68.00	62.00/68.00	41.00/64.00
GIS-mode					
S2/3-temp	0.0/-5.5	0.0/-6.0	-0.6/-6.0	-0.6/-6.0	-1.1/-6.6
RBMS-temp	-0.6	0.6	-1.1	-1.1	-1.7
ACS-mode	Safe Hold	Safe Hold	Safe Hold	Safe Hold	Safe Hold
ACS-spn/ θ_s	0.17rpm/6.72°	0.17rpm/6.7°	0.1rpm/7.0°	0.2rpm/5.1°	rpm/8.4°
Attitude	Y-axis (-14.4,-13.3)	Y-axis (-14.9,-14.6)	Y-axis (-14.0,-9.5)	Y-axis (-12.4,-11.1)	Y-axis (-15.1,-5.4)
OP-start start CE	19:24:02 00	Cont.	Cont.	Cont.	Cont.

Comment: 今日の主なオペレーションは定常制御に向け ACP、STT-DE を立ち上げること。また、RBM ON、ヒーター系のオンなどを行なった。Rev.1 では SAFE HOLD モードの基準センサーを SSAS-SB から SSAS-SA に変更し、よりノーマルな状態とした。これで、今後 SSAS-SB は日の目を見なくなる。また ACP のすでに打ち上げ時にロードしたプログラムをメモリーチェックした。今回は、本来冗長系である B 系の CPU を用いている。Rev.2 は IRU S1 Gyro ON した。出力レートが他の Gyro と consistent であることがこの可視で確認された。また、ACP を立ち上げ、コマンド/ステータスチェックを行ないこれも正常であることを確認。また、衛星全体の温度ポテンシャルが低く STT-S の保管温度が低くなる兆候が見られたので、STT-SA/SB HTR CNTL AUTO とした。Rev.3 ACP Timer 時刻の初期化を行ない、また IRU S1 Gyro をオフした。その後 RBM 立ちあげ、XRT ヒーターオン、RBM は SIS に対し Flag を立てることは禁止している。その後のカウントモニター、フラッグ機能などは正常にしている。Rev.4 は STT-DE の立ち上げであったが、これはコマンドの乱れ打ち。本来はこのパスで、プログ